



東京部会(第 28 回)	
日時:	2010 年 4 月 15 日 (木) 19:00-21:15
場所:	日本大学経済学部 3 号館(図書館)4 階会議室
参加者:	篠原 (同志社大)、加藤 (日大)、小巻 (日大)、新井 (都立小石川中等教育)、高橋 (桜修館中等教育)、杉田 (千葉西高)、三枝 (目黒中央中)、中沖 (清水書院)、鈴木 (日本経済教育センター)、鬼塚 (ジャーナリスト)、南・山原 (日本FP協会)、石山・榊原 (東京証券取引所)、宮尾 (筑波大) [順不同]
<p><b>【内容要旨】</b></p> <p>1. 最初に篠原先生より以下の報告があった。</p> <p>1A) 3 月 20 日の年次大会 (於日本大学) で力を入れた「入試シンポジウム」の成果の報告を作成する予定で、今後ともこの活動を継続していく (以下の「3. 入試プロジェクト」参照)。</p> <p>1B) 3 月 26 日大阪でのワークショップではゲームが取り上げられ、予想外の問題が起きたりしたので、再度見直して改善したい。</p> <p>1C) 教材「企業からみた経済の仕組み」(三枝モデル) は経済広報センターのサポートも得て、ほぼ完成し、最後の詰めを行っているところ。</p> <p>1D) Web ページの改修は間もなく進展する見込みである。</p> <p>2. 夏季研修 (先生のための夏休み「経済教室」企画) は、東京証券取引所との協力で進められており、8 月 2 日の名古屋から始まり、8 月 17 日の東京での開催まで詳細が詰められているところ。</p> <p>新井先生から詳しい企画案が配布され、篠原先生からポイントをリストしたメモが配布された。その中で、教科書に沿った研修にして、持ち帰った役立つ教材を準備することが強調された。さらに、各地の準備について、東証の石山さんから詳しい追加説明があった。</p> <p>3. 入試プロジェクトについては、新年度プロジェクトチームを立ち上げるが、それに関連して某財団への研究資金申請を行うべきかどうかかが議論された。結論として、申請する報告で進めるが、成果物を出せるような態勢、特に誰がリーダーとなってやるかをまず決めることになった。</p> <p>4. 概念・制度の解説 (高校用) については、入試に出た問題で、教科書の範囲を超えるものや教科書にあるが生徒が理解しにくい概念や制度の解説を分担して執筆することとなった。その際に、入試問題を見て、それに答えられるような解説を試みるということが重要という指摘があった (例、デフレ・ギャップは、「現実の GDP と潜在的 GDP の差」といった問題)</p> <p>5. 経済教育ネットワークのこれまでの活動の振り返りについて、様々な総括と問題点の指摘、今後の活動についての提案などがなされた。これについては、加藤先生が議論の柱をまとめて東京部会のメンバーに送り、メンバーの意見を取り入れた上で、ウェブページの「About Us」に</p>	



まとめをアップすること。またウェブページのコンテンツを見やすくすること。さらにメルマガやニュースレターの発行を再度活性化することなどが提案され、実施されることとなった。

(文責：宮尾尊弘)

次回開催予定： 4月15日(木)19:00~21:00、日大経済学部3号館4階会議室。

主な議題としては、引き続き夏季研修や入試プロジェクトに関する議論を進めるとともに、その時までに担当者によって提出された「概念や制度の解説(案)」を詳しく検討する予定。